

豊かな大阪湾の保全・再生・創出に向けて 私たちが行動できるネイチャーポジティブ

— 地域や企業、学校による生物多様性の保全、藻場再生の取組から学ぶ —

2025 **2/25** Tuesday
14:00～17:10
(セミナーは16:40まで)

参加費
無料

グランキューブ大阪
大阪国際会議場1202号室
(京阪電中之島線中之島駅直結)
*申込方法等は裏面をご参照ください。

プログラム ※時間は目安です。

14:00～ 講演 「ネイチャーポジティブをめぐる世界・国内の最新動向」

1) 「気候や海洋環境の変化が海洋生態系に与える影響、
ブルーカーボン活用の課題と展望」

京都大学名誉教授／
国立研究開発法人海洋研究開発機構[JAMSTEC] アドバイザー …………… 白山 義久 氏

2) 「ネイチャーポジティブ活動における地域社会と企業、
市民の連携の在り方」

公益財団法人日本自然保護協会
ネイチャーポジティブタスクフォース主任 …………… 高川 晋一 氏

「豊かな大阪湾」保全・再生・創出活動推進ノウハウ集の紹介 (セミナー事務局)

15:30～ パネルディスカッション 「大阪湾での活動紹介私たちが実践できる
ネイチャーポジティブ」

モデレーター 京都大学名誉教授／国立研究開発法人
海洋研究開発機構 [JAMSTEC] アドバイザー …………… 白山 義久 氏

1) 大阪湾での事例紹介

「阪南市における多様な主体が連携したアマモ場再生」
株式会社漁師鮮度 代表取締役 …………… 岩井 克巳 氏

「岡田浦漁港でのワカメ収穫体験イベント等を通じた水産品の食育活動」
大阪から明るい水産業を創る会 事務局 …………… 濱口 昭広 氏

「干潟における生物多様性の保全に向けた取組「ガタソンOSAKA」」
一般財団法人環境事業協会 環境推進部 環境推進課 …………… 山野寺 隆太 氏

2) 質疑応答・意見交換

モデレーター誘導のもと、大阪湾での活動実践者が、豊かな大阪湾の保全・再生・創出に向
けたネイチャーポジティブ活動推進のポイント、さらに進める上での課題等を話し合います。

16:40～ 相談・活動展示 大阪湾沿岸自治体・施設、大阪湾で環境保全活動を
実践する企業・団体

大阪府では、『豊かな大阪湾』保全・再生・創出プラン」に基づき、多面的価値・機能が最大限に発揮された「豊かな大阪湾」の実現に向けて、生物生息場の創出やブルーカーボン生態系*1の保全・再生・創出、府民等の環境保全活動の推進等に取り組んでいます。

また、環境省では令和6年3月に「ネイチャーポジティブ*2 経済移行戦略」を公表し、2030年までのネイチャーポジティブ実現に向けた目標の一つとして、陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全することを掲げており、目標達成に向けて生物多様性の保全が図られた区域を広げていくことが求められています。

本セミナーでは、近年関心が高まりつつあるネイチャーポジティブについて、国内外の最新動向から大阪湾での取組事例までの最新情報を幅広く発信するとともに、地域や企業、学校等が実践できるネイチャーポジティブに向けた取組みについて、取組みのヒントやポイントをご紹介します。ご関心のある方はぜひご参加ください。

*1 ブルーカーボン生態系：海洋生態系において隔離・貯留される炭素はブルーカーボンと呼ばれており、その主な吸収源である藻場（海藻・海藻）や干潟等は「ブルーカーボン生態系」と呼ばれる。

*2 ネイチャーポジティブ：生物多様性の損失を食い止め、反転させて回復軌道に乗せることを意味する世界的な社会目標。自然再興。

豊かな大阪湾の保全・再生・創出に向けて 私たちが行動できるネイチャーポジティブ

—地域や企業、学校による生物多様性の保全、藻場再生の取組から学ぶ—

とき **令和7年2月25日 (火)**
14:00 ~ 17:10
(セミナーは16:40まで)

ところ **グランキューブ大阪 1202号室**
(大阪府立国際会議場)

京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ
JR「福島駅」から徒歩約15分、JR「新福島駅」から徒歩約10分、
阪神「福島駅」から徒歩約10分、大阪メトロ「阿波座駅」から徒歩約15分

申込方法 (締切2月18日(火)まで)

<https://www.dan-dan.com/osakabay-conservation/250225>

QRコードより申込フォームへ進み、必要事項を記入
してください。

※ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する運営・情報提供、主催者のセミナー等
に関する情報提供についてのみ使用いたします。



【講演者プロフィール】

京都大学名誉教授／国立研究開発法人海洋研究開発
機構[JAMSTEC] アドバイザー
白山 義久 氏

東京大学大学院理学系研究科動物学専攻博士課程修了。
理学博士。東京大学海洋研究所助手、助教授、京都大
学理学部教授、京都大学フィールド科学教育研究セン
ター長、国研)海洋研究開発機構理事などを務めてき
た。

専門は海洋生物学。近年は海洋酸性化の生物影響の研
究なども実施。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)
の特別報告書の執筆者であり、生物多様性条約に関連
する各種会議 (IPBES) 等にも多数参加している。



公益財団法人日本自然保護協会
ネイチャーポジティブタスクフォース主任
高川 晋一 氏

東京大学農学生命科学研究科にて博士号を
取得後、2006年より現職。
市民を主体にした全国規模の自然環境モニ
タリング調査や、全国の約8000人の自然観
察指導員の養成、都市近郊の里山の保護問
題、里山の保全活動計画の策定支援、自治
体・企業と共に進めるネイチャーポジ
ティブ事業などを担当している。



株式会社漁師鮮度
代表取締役
岩井 克巳 氏

大学卒業後、海域環境改善技
術のコンサルタント業務に従
事。2021年に株式会社漁師鮮
度を漁協とともに設立し、牡
蠣小屋を地域のプラットフォーム
とした観光漁業、魚食普及
イベント等を実施している。
また、NPO法人大阪湾沿岸域環
境創造研究センター専務理事
も務め、小学校や企業と協働
で阪南市のアマモ場再生や生
物多様性保全を手掛けるほか、
NPO法人海辺づくり研究会で全
国の海の再生活動を行う高校
生や市民団体を支援している。



大阪から明るい水産業を創る会
事務局
濱口 昭広 氏

2013年、関西在住の水産
関係者の繋がりや、大阪
の水産業を学ぶ場を設け、
食育活動を進める会とし
て設立。大阪の水産業を知
ってもらい、食べてもら
うことで、流通の活性化
につなげることを目指し
ている。
これまでに、岡田浦漁港
(泉南市)でのワカメ収穫
等の体験イベントの運営
や、食育推進全国大会へ
のブース出展などを行っ
てきた。



一般財団法人環境事業協会
環境推進部 環境推進課
山野寺 隆太 氏

大阪湾の環境保全・再
生・創出活動の活性化
に向けた「干潟等にお
ける生物多様性の保全
活動」のモデル団体と
して、一般市民が湾内
の干潟の生き物を記録
して投稿する「ガタソ
ンOSAKA2024」を企画、
運営。
取組の一環として、専
門家と共に干潟の生き
物調査を行う環境学習
イベントを2回行った。

